

中期経営計画の進捗について

2016年 5月23日

ユニチカ株式会社

代表取締役 社長執行役員

注連浩行

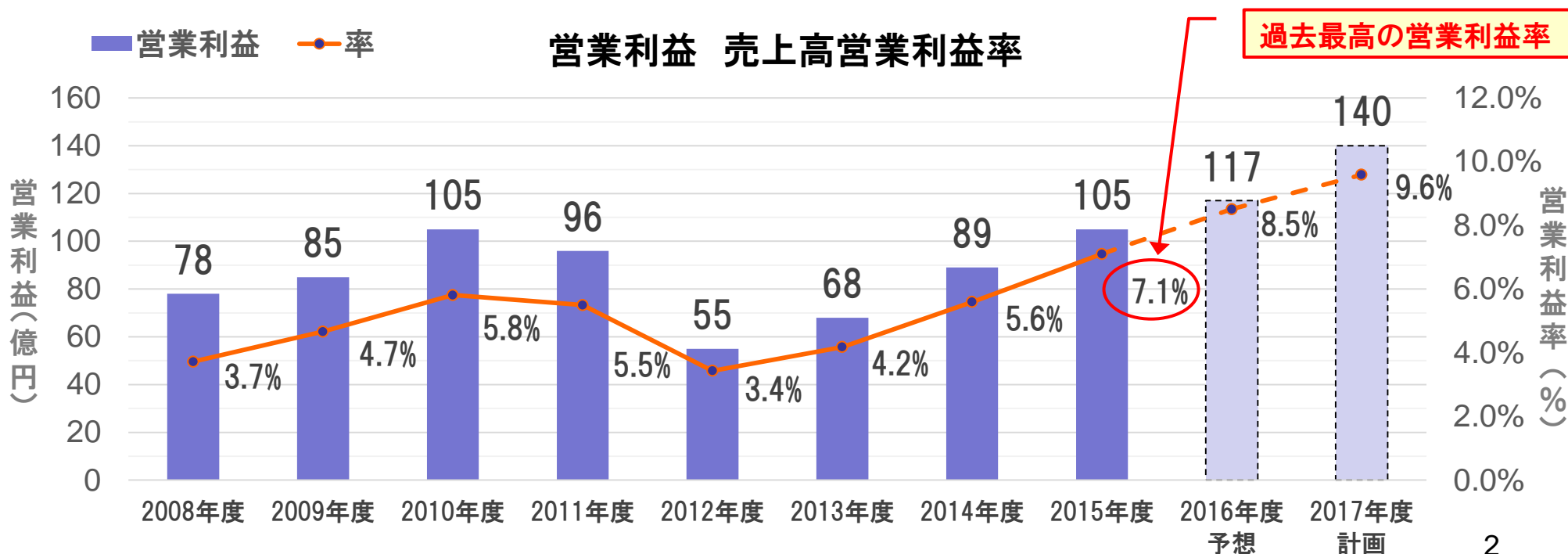
2015年度(計画2年目) 業績結果

- ◆ 売上は減少するも、営業利益は15億円(17%)増加
- ◆ 事業ポートフォリオ改革に伴う損失を圧縮できたため、当期純利益は当初見込みより好転
- ◆ 中期経営計画の2年目の進捗としては概ね順調に推移

[金額単位:億円]	2013年度 実績	2014年度 実績①	2015年度 実績②	差異②-①
売上高	1,627	1,591	1,465	▲127
営業利益	68	89	105	+15
経常利益	47	77	68	▲9
親会社株主に帰属 する当期純利益	6	▲270	69	+340

2015年度は、過去最高の営業利益率を達成

金額単位 [億円]	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 予想	2017年度 計画
売上高	2,096	1,822	1,807	1,747	1,602	1,627	1,591	1,465	1,375	1,460
営業利益	78	85	105	96	55	68	89	105	117	140



中期経営計画の進捗について

－施策の進捗(増益施策)－

(単位:億円)	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績		2017年度 計画
売上高	1,627	1,591	1,465		
営業利益	68	89	105		140

【収益寄与のイメージ】

計画の概要	2014年度	2015年度	
成長戦略 +47億円	+9億円	+16億円	収益強化も含む
ポートフォリオ改革 +10億円	+2億円	+11億円	一過性要因も含む
コスト削減 +15億円	+10億円	+10億円	施策は全て実施済み

－2年目(2015年度)進捗－

■ アジア市場向け新素材・新用途向け拡販（成長戦略）

[施策進捗]

収益は、中期計画比35%程度の進捗

[主な施策]

- ・ 耐熱性ポリアミドフィルム「ユニアミド」の開発、拡販
- ・ 環境配慮型の接着性樹脂「アローベース」の拡販
- ・ ポリエステルspanボンドの海外展開強化
[◆タスコでの機台増設を実行中 投資額 約 40億円]
- ・ 欧米向け拡販も施策として追加

■ 事業ポートフォリオ改革

[施策進捗]

事業撤退・縮小・売却等は概ね完了

[結果]

- ・ ユニチカ； 事業譲渡 3事業、生産停止 1事業 他
- ・ 関連会社； 株式譲渡 7社、清算 9社、ユニチカ吸収 3社 他
- ・ 改革の実行による損失は、2014～15年度累計で約350億円

■管理コスト削減、組織機能強化

[施策進捗]

- ・ 中期計画比7割程度の収益寄与
- ・ 計画した施策は全て実施完了 但し、コスト削減は継続して実施

■財務体質の健全化

[施策進捗]

- ・ 自己資本比率は、計画実施前(2014年3月末)から 9.6ポイント改善、15.7%に
- ・ 有利子負債は、計画実施前(2014年3月末)から 383億円減少、1,263億円に

	2013年度	2014年度	2015年度
自己資本比率(%)	6.1	12.0	15.7
純有利子負債/EBITDA 倍率※	12.2	7.4	5.5



2017年度計画
22.0
5.0

※EBITDA（営業利益+減価償却費）にて算出

成長戦略（高分子事業）

- 新バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の拡販
- 耐熱性ポリアミドフィルム「ユニアミド」など、工業分野向けフィルムの採用拡大
- エンブレムアジアのナイロンフィルム大型新鋭機の本格稼動による増販
- 高機能樹脂「アローベース」、「ゼコット」等の拡販、用途拡大
- ポリエステルスパンボンドのグローバルシェア拡大

財務体質の健全化

- 業績を着実に伸ばし、自己資本を蓄積
- 在庫削減等の運転資金の効率化による有利子負債の更なる圧縮

収益改善・強化（繊維事業・機能材事業）

ご注意

本資料中の予想は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいております。実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。